

プロドライバーへの道

# 非常時の対応マニュアル



西濃運輸株式会社

Ver1.1

# 【災害】

冠水



近年の異常気象により台風やゲリラ豪雨で河川が氾濫したり道路が冠水する恐れがある。

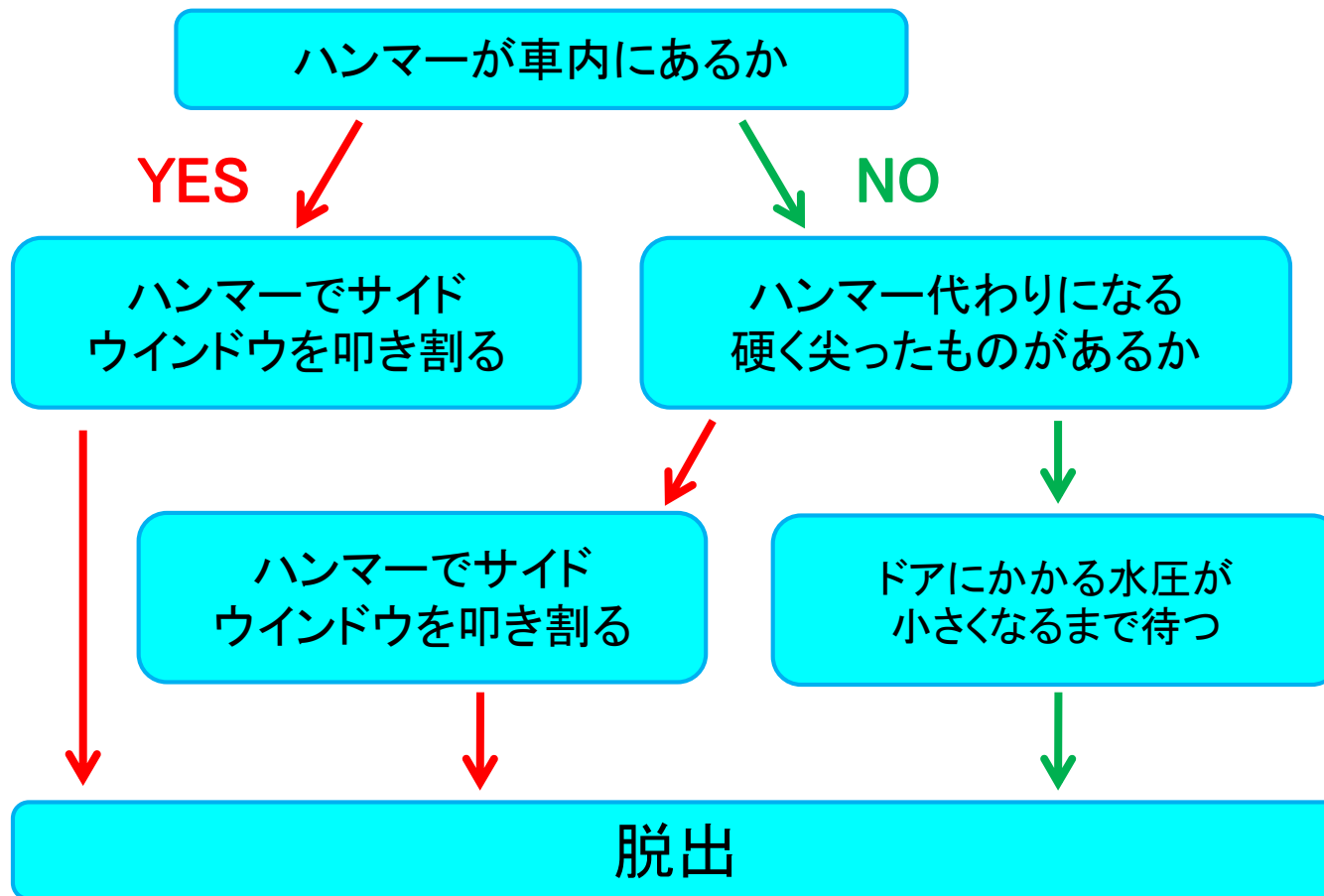
サイドバンパーより下まで冠水しているような場所は走行しない

- 水がエンジンに入ったり電気系統がショートしたりしてエンジンが動かなくなる。電気系統が故障すると窓も開かなくなる
- バッテリーが冠水すると通電し火災の原因になる
- ウォーターフェード現象が起こり一時的にブレーキが効きにくくなる

もし水没したら・・・



ドアも窓も開かないときはこうして脱出する。



### 車両からの脱出・・・

- 水没し電気系統が作動しなくなる前に必ず窓を開ける。
- ハンマーでサイドウィンドウを割る。
- 車内に水が入ってくるが、外の水位との差が小さくなれば圧力の差が縮まるため、ドアにかかる水圧が小さくなる。それまで待ちドアを開ける。

# 【災害】

## 地震・津波

もし緊急地震速報が発令されたら・・・

### ●クルマを安全な場所に停止させる

- ・ゆっくり減速して、左側に寄せて停車する  
(緊急車両の妨げにならないようにする)
- ・余震に備えてサイドブレーキをかける



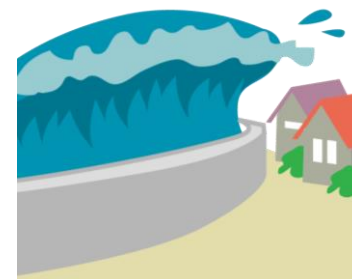
### ●正確な情報の把握に努める

- ・一般ラジオの地震情報、道路情報板、道路情報ラジオ等で  
公共機関からの情報を得る
- ・警察や道路パトロールカー隊員の指示があれば従う

### ●避難をする時は、周囲の安全を確認するとともに以下の点を守る

- ・窓を閉める
- ・貴重品(車検証等)を持ち出してください
- ・エンジンを停止し、キーを運転席に残す
- ・ドアロックはしない

もし津波警報が発令されたら・・・



- 安全な場所に車を駐車したら高台に避難する。
- 津波から避難するためやむを得ない場合を除き、避難のために車両を使用しないこと。
- 津波から避難するためやむを得ず車両を使用するときは、道路の損壊、信号機の作動停止、道路上の障害物等に十分注意しながら運転すること。

# 【災害】

台風

## 【事前確認】・・・情報のキャッチ

運行管理者は、事前に日本道路交通情報センター・道路管理者に確認すること



- 点呼時に運行管理者から出発の可否、その他運行上の指示を仰ぐ
- 走行中は、電光掲示板、ラジオ等で常に情報を得る

### 【判断】…適切な状況判断

※運送事業者は、災害時に災害復旧の大きな担い手となるため、災害時における事故は回避する必要がある。



規制標識



- 気象変化などに応じた速度規制等が表示された時は、即対応する
- 走行時、横風にハンドルとられる状態であれば走行しない
- 雨風が激しくなったらSA・PAで待機し台風の通過を待つ。



## 強風の影響を受けやすい場所

①風を遮るものが少ない場所	②風の流れが集中しやすい場所	③急激に風圧が変化する場所
<ul style="list-style-type: none"><li>・海岸沿い</li><li>・高架道路</li><li>・河川橋</li><li>・郊外平野部</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・山間部</li><li>・切り通し(※)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・トンネルの出口</li><li>・防音壁の切れ目</li></ul>

(※)山・丘などを切り開いて通した道



- トラックの構造上、横風に弱いので  
上記に記載された場所を避け慎重に走行する。
- 上記の場所にはいかにないように停車し待機する。  
(運行管理者に一報を入れる)
- 橋の上(高架橋)では待機をしない。
- 停車時、転倒の原因となるのでウイングを開けない



高架下などのアンダーパスは要注意



ハンドル操作を誤ると・・・

- トンネルの出口は突風に注意する。
- 高架下などは冠水により通行が困難になる場合もある。  
そういう場所は予め通らない
- ハンドル操作を誤ったり、速度超過による横転
- 通常の走行とは違い、危険な状況にあることを認識すること

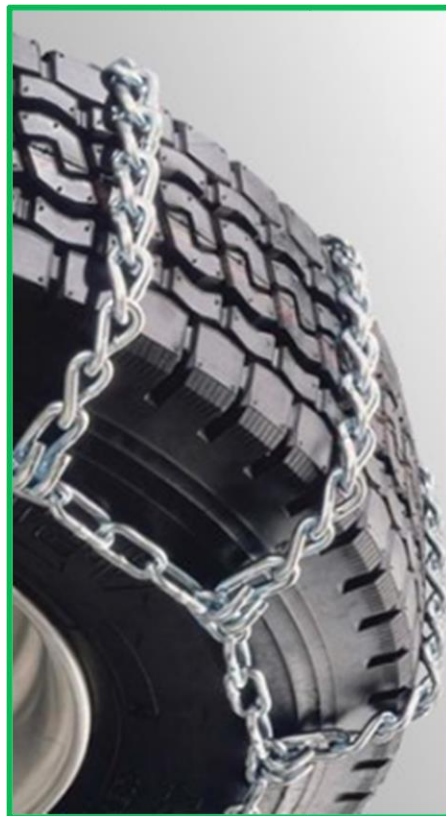
# 【災害】

雪道

### 【事前準備】・・・タイヤチェーンの準備はできていますか？



ワイヤーチェーン



金属チェーン

・事前にタイヤチェーンの装着方法、破損、ゴムバンドの確認をしておきましょう

※詳細はチェーン脱着マニュアル参照



断裂した状態のチェーン

・スタッドレスタイヤ装着車だから大丈夫ではなく必要に応じ**タイヤチェーン**を装着する

## 【認知】…事前の情報キャッチ

The screenshot shows the NEXCO website interface for snow and traffic information. It includes a navigation menu, search filters for region, date, and time, a legend for snow and ice conditions, a map of the Kanto region with various markers, and two tables at the bottom: 'Nearby Weather/Camera Information' and 'Daily Traffic Regulation Information'.

機器	場所・名称	内容	
積雪	米原市吉城 (吉城)		
積雪	米原市藤川 (藤川)	積雪深: 0cm 気温: 0.3℃	詳細
積雪	米原市柏原 (柏原)	積雪深: 0cm 気温: 1.9℃	詳細

規制理由	内容	更新日付	
積雪	(主) 多賀郡井線 多賀町大字霊仙 ~ 彦根市武京町	2017/12/13	詳細
道路工事	(国) 303号 滋賀県長浜市西浅井町八田部 ~ 滋賀県長浜市西浅井町岩能	2017/12/13	詳細



NEXCO東日本(ドライブトラフィック)  
<http://m.drivetraffic.jp/>



NEXCO中日本(アイハイウェイ)  
<http://c-ihighway.jp/>



NEXCO西日本(アイハイウェイ)  
<http://ihighway.jp/>

- 事前に日本道路交通情報センターや道路管理者また、その他インターネット等により積雪・渋滞・通行止め等の道路情報を出発前に確認



### 【判断】・・・適切な状況判断



規制標識



電光掲示板による確認

- 対面点呼時に運行管理者の指示を仰ぐ(運行の可否・チェーンの装着等)
- 危険個所の共有
- スタッドレスタイヤ装着車だから大丈夫ではなく必要に応じタイヤチェーンを装着する
- 気象変化などに応じた速度規制等が表示された時は、即対応する
- 走行中も、電光掲示板、ラジオ等で常に情報を得る(気象は常に変化する)

【操作】…どのような運転をしますか？



凍結路面



わだち



ホワイトアウト



緩やかなカーブ

## 【操作】…雪道運転



前走車が事故するかも？



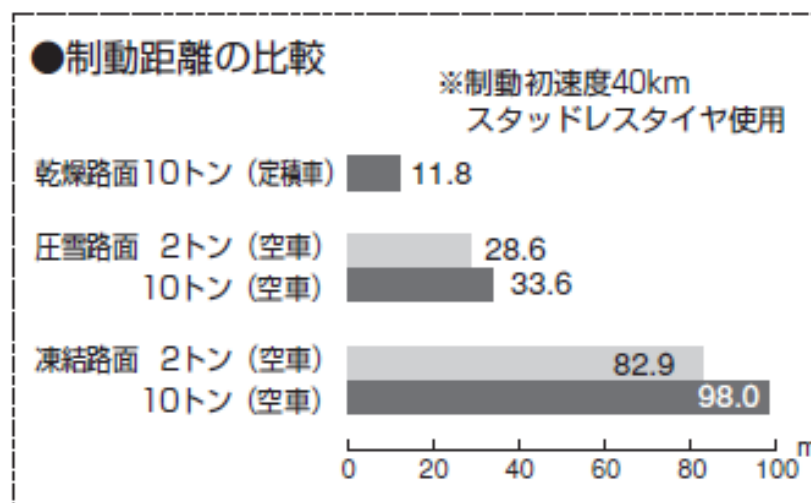
トンネルの先は？



安全の確保



橋の上は？





【操作】・・・この場合は運転しますか？



ブラックアイスバーン

- ブラックアイスバーン・・・路面に薄い氷の膜が張った状態であり、一見するとアスファルトが黒く濡れているだけのようにも見る道路



新雪



圧雪

- 新雪・・・新しく降り積もった雪
- 圧雪・・・車などで踏み固められた雪

### 【操作】…雪道運転

- ・雪道の運転経験があるからといって自分の運転を**過信**しない。
- ・雪道走行に不慣れな車両も走行している事を踏まえ、**常に危険を予測した運転**をする。
- ・急発進、急ブレーキ、急ハンドルなど**急の付く動作は避ける**。
- ・緊急時に急ブレーキを踏むとABSが作動。  
(ブレーキペダルが振動しますが、ゆるめずにしっかり踏み続けることが大切)
- ・定期的に**SA・PAで路面の凍結状態を確認し、運行管理者に連絡する**。(場合によってはチェーンを装着する)

### 【操作】…雪道運転

- ・新雪はハンドルを取られる為、**轍(わだち)**を走行する。
- ・カーブでは、遠心力などによって横滑りが生じやすく、特に左カーブでは、それがもとで対向車線にはみ出して対向車と正面衝突する危険がある。
- ・**トンネルの出口**や**橋の上**は気候と路面変化に注意
- ・街なかの交通量の多い道路で多発している追突事故の主な原因は前車に漫然と追従していてその減速停止に気付くのが遅れたもの
- ・渋滞等で長時間停止しマフラーが雪で埋まった場合一酸化炭素毒の可能性があるので、マフラー周辺を定期的に除雪し換気をするのが重要

冬道での制動距離(ブレーキ距離)は3~10倍以上…

- ・フルブレーキを踏んだとき、車が停止するまでに必要な制動距離(ブレーキ距離)は夏場の乾燥舗装路面に比べて、圧雪路では3倍以上、アイスバーンでは10倍以上にもなる。
- ・乾燥舗装路面に比べて、比較的滑りにくい積雪や圧雪路面でも約3倍、アイスバーンでは約6倍となる。

**運転者は運行管理者に報告し待機する。**  
(高速道路の場合はPA・SA一般道は安全な場所)



**運行管理者は道路管理者(各県)により情報を取得し  
運転者に指示をする。**